第５回審議会　会議要録

1.　日時

令和７年 11 月 18 日（火）19：00～20：45

2.　場所

島田市役所３階　大会議室

3.　出席者

委　　員：森会長、小塚副会長、岡村委員、岡本委員、奥山委員、桒原委員、甲賀委員、杉本委員、鈴木委員、髙森委員、大下委員、寺尾委員、戸田委員、原﨑委員、松浦委員、山本委員

オブザーバー：吉良静岡県中部地域局長

事　務　局：牛尾副市長、鈴木市長戦略部長、小野戦略推進課長、大石課長補佐、今村係長、清水主査、牧野主査、曽根（由）主査、曽根（翼）主事、久保主事

傍 聴 者：０名

4.　資料

- 次第
- 資料１　第３次島田市総合計画（案）
- 資料２　第４回審議会意見への対応・考え方
- 資料３　島田市市議会全員協議会における説明概要
- 参考１　策定スケジュール及び作業内容

5.　内容

（開会）

（会長あいさつ）

- お忙しいところ、ご参集いただき感謝申し上げる。市議会の全員協議会にて、質問や追加等があったと承知している。より充実した内容になったと感じているため、本日も審議をお願いしたい。

（議事）

（1）　第４回審議会に対する対応・考え方及び「基本計画分野別のまちづくりの方向性」の修正について

資料１及び資料２に基づき、大石課長補佐より説明

【質疑応答】

なし

（2）島田市議会全員協議会における意見について

資料１及び資料３に基づき、大石課長補佐より説明

【質疑応答】

なし

（3）第３次島田市総合計画（案）について

資料１及び資料４に基づき、大石課長補佐より説明

【質疑応答】

委員Ａ：20 ページの「島田市内に住む市外出身者（13 人）」の記載について、島田市への転入者数全体が 13 人であるという意味ではないとの理解でよいか。13 という数字は少ない印象であるため、表現は見直してもよいのではないか。

事務局：この 13 人は、移住者ワークショップの参加者を募集し、参加希望した人数を意味しており、市外からの転入者が 13 人しかいなかったというものではない。表現については検討させていただく。

委員Ｂ：36 ページの「笑顔あふれる　安心のまち　島田」のフォントが明朝体となっているが、第２次総合計画のようなゴシック体の方がはっきり見やすかったため、修正してみてはいかがか。また、49 ページの全体指標の基準値と目標値について、前回の審議会ではアンケート結果の平均値をもとに考えているとの説明であったが、設定の考え方の記載がなく、総合計画終了時点の目標値と捉えられる可能性があるため指摘させていただく。

事務局：１点目の文字のフォントについては、総合計画の内容が固まった後のデザインを行う段階で検討させていただく。また、２点目の指標については、巻末資料に指標の説明をまとめて掲載する予定。

委員Ｂ：巻末資料まで読む読者は多くないのではないか。前回の総合計画の冊子に記載されていた基準年がなくなった印象となり得るため、検討してもよいかと考えた次第。

会　長：ご指摘のあったデザインについては、今後調整していくと認識しているが、9，10 ページなどのグラフについても、余白が小さく見えにくいため、併せて検討をお願いしたい。

委員Ｃ：23 ページの③「主観的幸福感」のグラフについて、単位の表記は％で間違いないか。

事務局：％を追記させていただく。

委員Ｄ：10～12 ページの静岡県内における島田市のポジショニングを示したデータについて、2020 年や 2021 年の古いデータが掲載されているが、2026 年度以降の計画を策定するのであれば、少しでも新しい情報を引用すべきではないか。

事務局：改めてデータは確認させていただく。

会　長：各 SDGs のマークについてのインデックスのような説明は追記するとの理解でよいか。
事務局：掲載を予定している。

委員Ｅ：82 ページと 83 ページはつながっていると思われるため、83 ページの文字の大きさを工夫するなどして、余白をなくすようにできないか。
事務局：デザインを検討する中で修正を行いたい。

委員Ｅ：SDGs は 2030 年までに達成すべき目標であるが、本計画は 2033 年までが計画期間であり、目標年を超過すると認識している。SDGs のマークが第 2 次総合計画よりも小さく掲載されているが、これは目標年を超過してしまうことと関係があるのか。
事務局：小さくしたことに意図はないが、ご指摘のような印象を持たれることもあるため、余白の使い方など工夫させていただく。また、目標年が超過するとのご指摘について、第 3 次総合計画の前期基本計画はまだ SDGs の計画期間中であるとご理解いただきたい。

委員Ａ：総合計画の記載の修正を要望するものではないが、市として課題を認識してほしいため申し上げる。昨今、線状降水帯など被害の恐れがある気象異常が発生している。そのような中、児童の下校の判断は校長に一任されていることもあり、市から雨の状況に関する連絡はされていないと承知している。教員は逐一、外の状況を確認することが難しいため、島田市付近の降雨状況で、児童の下校に影響があると考えられる場合は、危機管理課を中心に早めに市から連絡するような取組をお願いしたい。
事務局：防災に関する情報の効果的な発信は重要と認識。危機管理課を中心に様々な手段を用いて取り組んでいる。政策の大きな方向性の中に含ませているが、市民の暮らしにとって重要な分野であるため、庁内でも引き続き取り組んでいきたい。
会　長：重要な指摘に感謝申し上げる。

委員Ｆ：各施策の中の目標値の設定方法について改めて確認させていただきたい。
事務局：各所管課にて、どの程度の目標値にするか、他の計画等との整合を図ることができているかを確認し、根拠を持ったうえで設定している。設定の考え方について、巻末資料にできる限りわかりやすく掲載できるよう検討を行いたい。
委員Ｆ：市民目線での理解は難しいため、わかりやすい表記をお願いしたい。

委員Ｅ：82 ページの「2. 農地の集約化を推進し、農業の持続可能性を高めます」について、市としてオーガニックビレッジ宣言を行っていることから、有機農業の持続可能性という意味も含まれているとの認識でよいか。第 2 次総合計画では、有機農業に対する支援が明記されており、削除されたため指摘させていただく。
事務局：82 ページの記載で全てを網羅することが難しいため、44 ページの（6）経済・産業の

パートで「有機栽培などによる付加価値の高いお茶の生産」という記載で包含している。

委員Ｅ：44 ページの記載では、お茶に限定した記載となっている。オーガニックビレッジ宣言では、お茶以外の野菜なども含まれると考えるがいかがか。
事務局：所管課とも改めて協議し、記載については検討させていただきたい。現在は「付加価値の高い農作物」という記載で、有機農業を包含するようにしている。

委員Ｇ：めざそう値の基準年を各指標に追記することはできないか。
事務局：ご指摘を踏まえ、52 ページにわかりやすく記載できるよう工夫させていただく。
会　長：同様の内容にはなるが、各政策分野の冒頭のページに説明を入れることも一案かと思う。

委員Ｇ：市民意識調査のパートのグラフについて、線が重なっている箇所が見づらい。また、地域別のニーズについても、アイコンと文字が重複しており識別しづらいと感じる。
会　長：事務局にてデザインを検討いただきたい。

（オブザーバー講評）

- 今回挙げられた意見を聞くと、市民目線のわかりやすいものにしたいという印象を受けた。成果指標の基準の考え方などの意見を反映していくことで、より身近なものにしていくことができると思う。県職員としても参考となることが多かった。

（その他）

- ご審議いただいた内容を踏まえ、11 月 22 日（土）から 12 月 21 日（日）にかけて、パブリックコメントの募集の手続きに入る。次回の第 6 回総合計画審議会については、令和 8 年の 1 月 26 日（月）19 時から同会場で開催予定。開催前に開催案内や資料を送付させていただく。
- 次回の第 6 回審議会が最終回で、パブリックコメントの結果を踏まえた答申案を提示する予定。また、1 月 30 日（金）には、市長への答申を行う予定。開始時間は 14 時であるため、出席が難しい場合が考えられるが、可能な範囲でご参加いただきたい。後日、答申の出欠についても確認させていただく。

（閉会）

20：45　会議終了